

環境に配慮し自然と共生できる人材育成の制度



グループ名：ESD

メンバー：大津 英治、芳村 暢昭、浅田 紀彦、山本 静香

チューター：薄井 智貴、入澤 寿平、小谷 博光、鈴木 英司
谷川 彩月、羽田 裕

現状の把握

大量／生産・消費・廃棄

適量／生産・消費・廃棄

パラダイム・シフト

- ・持続可能な開発の視点に立ったあらゆるレベルでの意識改革や具体的な行動を促している
- ・単なる知識を網羅的に得ることだけに留まらないように、参加型アプローチ

意識の変容と実践参加教育
→「(自然)環境」だけでない!

20年後に向けての提言の概要

【なりゆき】

- ・行動ができる人が増えない
- ・教育格差
- ・貧困がなくなる
- ・生物多様性の低下
- ・環境行動低下(人数)

【2040年あるべき姿】

- ・行動できる人材を増やす
- ・リカレント教育
- ・ジェンダー平等
- ・自然と人間の共生
- ・労働機会の増加

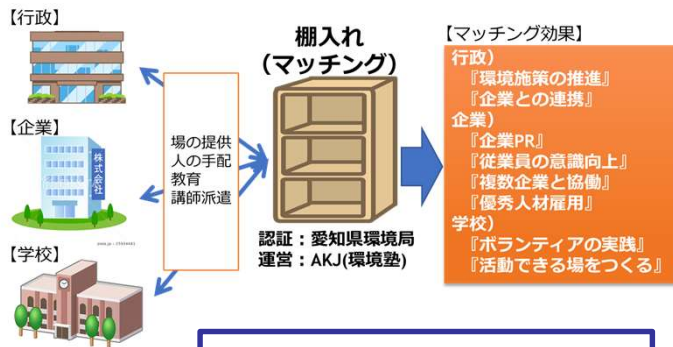
【ギャップ】

なりゆきの姿が残る

環境に配慮し自然と共生できる人材育成

提案の内容

棚入れ制度



産官学一体で活動できる

マッチング例)



企業が積極的に行動ができる
サステイナブルな愛知県の実現

提案実現のための具体的な取り組み (アクションプラン)と実現可能性

棚入れ制度の導入:

0. サステイナブル税の導入
1. 自然環境推進責任者の設置
2. SST認証(SuSustainable)付与
3. ポイントに応じて、サステイナブル税の還付

イメージキャラクター

(認証証明)

さすていなぶるくん

さすていなぶるさん

さすていなぶるさま ver. PPAP



波及効果

愛知県:

- 環境に配慮した企業が増える
- 環境に配慮した、行動できる人が増える

企業:

- サステイナブル税の還付
- ESGのE人材が獲得できる

愛知県から広がるSDGs